

認知症に関する活動計画（概要）

鳥取県作業療法士会では、平成27年度より認知症対策委員会を設置し、①認知症初期集中支援チームをはじめとする認知症施策やケア会議等において作業療法士の立場から適切な助言・支援ができる人材育成、②地域・高齢者に対するケアを推進する地域の各職種と連携・協働し地域の抱える課題の検討などを推進できるチームケアリーダーの育成を目的に活動を行っている。

認知症研修会／人材育成

平成27年度より、鳥取県地域医療介護総合確保基金事業の助成を受けながら、年3回の認知症研修会を開催。6つのテーマに基づき研修会を開催し会員の受講状況を登録、修了者をリスト化し事業への協力派遣を行う体制を作っている。令和4年度末時点で、会員数543名中118名が6テーマ受講修了している。また、アップデート研修を28年度から毎年1回実施し、計171名の会員が受講修了している(31.2%)。

研修会の一部Web開催へ変更し、VR認知症体験を用いた研修会では、自分ごととして認知症を学ぶ機会も創出している。



VR認知症研修会の様子

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

2022年は「走った歩いた写真・好きなことやお出かけした写真」、「歩数や移動距離」を携帯やパソコンから専用フォームへ投稿していき、みんなで合計移動距離100kmになることを目指して開催。参加人数は延べ106人、移動距離は134kmに達し、本人・家族の集いにて報告会も開催した。

2023年度はたすきりレーの再開、世界アルツハイマーデー記念講演会の共催・パネルディスカッションへの会員派遣、行政による駅前でのオレンジライトアップなどを計画している。

RUNTOMO TOTTORI 2023
 念願のタスキリレー復活！
 参加者大募集！

RUNTOMOとは、認知症の人、家族、介護者などがみんなでタスキをつなぎ日本各地を結ぶイベントです。RUNTOMOを通してこれまでなかった認知症の人と、地域民との結びつきを築くよう「認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい地域を創る」という理念のもと、2017年よりイベントを開催し続けてきました。コロナ禍でイベントができない状態が続いてきましたが、認知症の方と地域を繋ぐ機会を創やすことのないよう、オリジナルプロジェクト「思いまほプロジェクト（おもほプロジェクト）」「ソトモ」など、様々な活動を行い地域との繋がりを大切に活動してきました。

そしてついに、2023年は念願のタスキリレーが復活！地域の皆様と再びお会いできることを楽しみにしております。もちろん、初めての方向に挑戦も大歓迎！みんなで笑顔をさらに盛り上げていきましょう！

東部地区	中部地区	西部地区
10月22日	10月21日	10月28日
鳥取市・八雲町にて開催予定	倉吉市内にて開催予定	米子市内にて開催予定

多くの方のご参加をお待ちしております！ エントリー締切日
 参加エントリーの方法など詳細は裏面にご確認ください 9月30日

RUNTOMO鳥取啓発ポスター

認知症初期集中支援関係

平成28・29年度で国立長寿医療研究センターが開催している認知症初期集中支援チーム員研修へ県土会員を6名派遣、認知症研修会の中で伝達講習を行い、会員94名が受講済み。現在、県内19市町村のうち、9市町村で初期集中支援チームへチーム員会議を中心に会員が関与しており、一部では訪問等の実働も行っている。

認知症予防関係

研究開発に協力した「とっとり方式認知症予防プログラム」の普及啓発事業として、県内社会福祉協議会の担当者や県下サロンの世話人向け研修会、老人クラブ向け研修会説明会などで市民向けにプログラムの紹介やデモンストレーションの実施、認知症予防専門士講座でのプログラム紹介も行っている。



とっとり方式認知症予防プログラム

認知症の人と家族の会との連携事業

県下3か所で若年認知症サポートセンターが実施している「若年認知症の人と家族のつどい（にっこりの会）」へ会員を派遣し内容の企画・実施に携わっている。



ろうあ仲間サロン会（ポッチャ）

その他

市町村の介護予防事業や公民館の講座で認知症予防関連等の講師、各地域の認知症施策を考える会への協力、ろうあ仲間サロン会での介護予防講座の講師なども行っている。